

広報

# おいらせ

## 春よ来い

春を呼ぶ百石えんぶり。えびす舞を舞う竹中翔君（甲洋小2年）。2歳からえんぶりを続けている。2月22日、民俗芸能発表会で撮影

特集

## もう一度 白い天使を 呼び戻せ

- 自治基本条例
- 平成 21 年度当初予算
- 定額給付金の申請書類が届いたら
- おいらせが全国に誇れるブランド
- ごみ減量への取り組み
- 家族のきずな

ほか

Public  
Relations  
April  
2009  
No.50

4

みんなに  
教えたくなる  
この人

# 努力は結果を裏切らない 野菜の生産で町に貢献したい



## 吉田良紀さん

青森県農業経営士に認定された

Yoshida Yoshinori  
JA十和田おいらせもいし支店野菜部会長。1954年おいらせ町生まれ。県立三本木農業高校卒。水田や畑など14畝で、大規模な農業経営を展開。大根、キャベツ、ニンジン、長イモ、ゴボウ、コメなどを生産。両親、長男夫婦、孫3人の8人暮らし。一川目在住、54歳

太平洋に面した一川目地区で農業を営む吉田良紀さん。このほど青森県農業経営士に認定された。農業経営士は、地域農業のリーダーとしての役割を担い、優れた農業経営を展開する農業者が認定される制度。おいらせ町では三人目、しかも十数年ぶりの快挙だ。

吉田さんは「仲間や関係者のおかげです」と喜びをかみしめる。八三年に青年農業者として認定された吉田さんは、若手農業者のリーダーとして活躍。○五年JAもいし(旧当時)野菜部会長に就任、町農業の振興に力を注いできた。

### 広報おいらせ

Oirase Town Public Relations  
April 2009 No.50

#### CONTENTS 目次

- みんなに教えたくなる  
02 この人  
吉田良紀さん
- <特集>  
02 もう一度  
白い天使を  
呼び戻せ
- まちの話題  
10 Oirase Topics  
民俗芸能発表会、町遺族会設立  
総会、中学校卒業式 ほか
- 12 おいらせ町表彰・文化  
に関する表彰授与式
- 14 自治基本条例
- 16 H21年度 当初予算
- 19 定額給付金の申請  
書類が届いたら
- 20 男女共同参画プラン
- 23 おいらせアーカイブス
- 26 Monthly  
Oirase  
Information  
春の交通安全運動、子育て応援  
特別手当、春まつりほか
- 30 おいらせ健康  
カレンダー
- 31 ごみ減量への取り組み
- 32 家族のきずな  
志賀菜々美ちゃん  
寿幸さん・京子さん  
=緑ヶ丘=



OIRASE  
Special Edition

# もう一度 白い天使を 呼び戻せ

冬の使者白鳥は「町の鳥」でもある。  
餌づけ自粛から半年、飛来数は激減した  
なぜ餌づけできないのか？  
これからどうなっていくのか？  
町の考えや地域の思いは？  
わたしたちは、  
おいらせの地を離れようとしている  
白い天使を呼び戻すことができるのか。

# 白鳥が激減

## 寂しげな間木堤

県内有数の白鳥飛来地「間木堤」。冬の間、多くの観光客が白鳥の餌づけを楽しむおいらせの人気スポットだ。観光バスルートにも組み込まれている。

ところが今、間木堤の白鳥は激減している。岸辺の柵には「餌を与えないでください」と書かれた看板。観光客の姿もまばらで、おいらせの冬の風物詩は、なんとも寂しげだ。

## 餌づけは続けたいが

なぜ餌づけが禁止されたか。町観光協会事務局の坂井田章夫町商工観光課主査は「間木堤では昭和三十一年ころから餌づけが行われ、最近では、ピーク時に七百羽近い白

鳥が飛来するようになりました。ところが昨年四月、十和田湖で回収された白鳥の死骸から鳥インフルエンザウイルスが検出され、専門家から『餌づけ時に鳥が集中し、ウイルスに感染しやすくなる』と指摘されたのです」と理由を説明する。

町はこの指摘を受け、間木堤や根岸堤などを訪れた観光客の靴底を消毒したり、白鳥保護監視員にマスクや手袋の着用を義務付けたりして対処してきた。

ところが昨年十月、青森県が県内全域に「餌づけ自粛」を要請。▽生物が自力で餌をとらなくなる▽生態系のバランスが崩れる▽鳥の集中でウイルス感染の可能性が高まる」という理由だった。

坂井田主査は「万一養鶏場の鶏などに感染すれば、鶏を処分しなければなりません。業者が大打撃を受け

る可能性もあります」と懸念する。観光協会は関係者と協議を重ね、今冬の「餌づけ禁止」を決めた。「白鳥はおいらせのシンボル。餌づけを続けたい思いはみんないっしょです。自粛は苦渋の選択でした」と坂井田主査は表情を曇らせる。

## 冬の観光に痛手

餌づけの自粛は、観光産業にも大きな影響を与えている。「白鳥は冬の貴重な観光資源」です。シーズン中は全国各地から九万人もの観光客が間木堤を訪れています。白鳥保護監視所で提供している餌（パンの耳）は「エサカンパ代」として、白鳥保護活動の貴重な財源にもなっていました」と坂井田主査。

餌づけの自粛で、収入はなくなりました。恒例のイベント「ふれあい白鳥デー」も中止になり、おいらせの冬の観光は大きな痛手を受けている。餌付け自粛は、皮肉にも白鳥とともに冬をもたらしした。



1\_ 間木堤にある白鳥保護監視所。ここでは毎年パンの耳を観光客に提供し、カンパ代をもらっていた。えさ代は白鳥保護活動の大きな財源になっていた。2\_「白鳥鳴き声コンテスト」などユニークな催しが満載の「ふれあい白鳥デー」。本年度は餌づけ自粛のため、イベントの開催を見送った。



町観光協会事務局（商工観光課）  
坂井田章夫  
Sakaida Akiyo

## 白鳥博士に聞く

## 間木堤に白鳥を呼び戻したい 腑に落ちない、餌づけの禁止

間木堤の白鳥といえばこの人、**蛭名幸政**さん。蛭名さんは、町白鳥保護監視員として平成九年から十一年間、白鳥と共に過ごしてきた。おいらせでもっとも白鳥に詳しい**蛭名さん**に聞いた。



仕事を引き受けるときは、何をすればいいのか、エサはどれくらい与えればいいのかわかりませんでした。

当時、白鳥に関する記録は何も残されていなかったからです。毎日試行錯誤の連続でした。何年か続けているうちに、わたしも白鳥もお互いに慣れてきたのでしよう。餌の時間に大声で呼ぶと、白鳥が寄ってくるようになりました。

白鳥はとても家族愛の強い鳥です。必ず夫婦一緒に家族一緒に行動します。その姿がとてもかわいく思えました。

十一年間毎日、白鳥の飛来数を記録してきました。

記録はすべてデータ化して整理しています。餌づけできなくなった今冬の飛来数は、例年の十分の一程度でした。

わたしは、十和田湖で死んだ白鳥は、そこでウイルスに感染したのではないと思っています。死亡が確認されたのは四月末。十和田湖より南の地域で感染したまま十和田湖で死んだのではないでしょう。

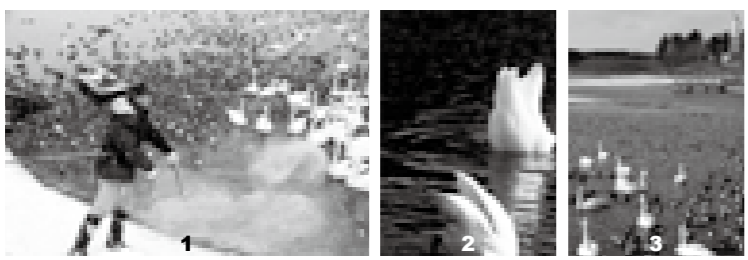
餌づけとウイルスとの関係は、いまだはっきりしていません。間木堤では、何十年も餌づけを続けてきま

## 蛭名幸政さん

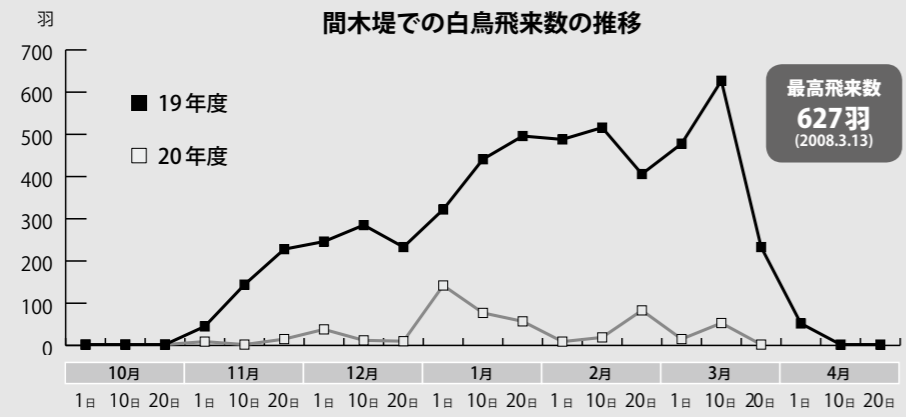
**PROFILE**  
えびな・ゆきまさ おいらせ町白鳥保護監視員。1936年おいらせ町生まれ。平成7年に八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部を定年退職。平成9年から白鳥保護監視員を務める。白鳥だけでなく、カナリアや山野草にも造詣が深い。おいらせ町離れ地区在住、73歳。

したが、この間、ウイルスで死んだ白鳥を目にしたことは一度もありません。死亡する白鳥のほとんどは、電線に衝突しての事故死か餌を得られず衰弱死したものです。白鳥の死亡とウイルスとの関係がはっきりしていないのに、県が餌づけを禁止したのは、どうも腑に落ちません。

白鳥のいない間木堤は寂しい限りです。町の鳥はもちろん、観光資源でもある白鳥を、一日も早く間木堤に呼び戻したい。今はその気持ちでいっぱいです。

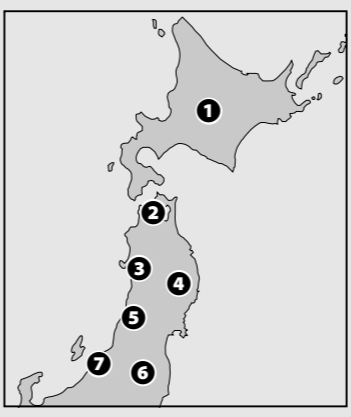


1\_ 餌づけ自粛前に撮影。凍結した護岸で、命綱をつけて白鳥へ餌を与える蛭名さん  
2\_ 水中に首を突っ込み、水草などを採るオオハクチョウ。現在餌づけが行われていない間木堤では、このような姿を目にする  
3\_ 間木堤とともに白鳥飛来地として知られる根岸堤。根岸堤でも平成3年から餌づけが行われていた。今回の餌づけ自粛で、例年に比べて白鳥飛来数が激減しているという



◀間木堤では例年3月に白鳥飛来数がピークを迎える。12月に若干の飛来数増加が見られるが、これは南へ移動する白鳥が、一時的に間木堤で羽を休めるためと考えられる。3月の増加は、逆に北へ帰る白鳥が途中立ち寄るためと思われる。間木堤は居座る白鳥だけでなく、南北へ移動する白鳥の中継地としても重要な役割を担う。グラフから餌づけを自粛した今冬は、飛来数が激減していることが読み取れる

◎資料提供 町観光協会



都道府県	自粛の有無	概要
1 北海道	自粛を喚起	浜頓別町クッチャロ湖などでは従来どおり餌づけを行っている
2 青森県	全面自粛	平内町浅所海岸、おいらせ町間木堤などを含ますすべての飛来地で餌づけを自粛している
3 秋田県	全面自粛	全国に先立ち全面自粛
4 岩手県	自粛を喚起	ほぼ従来どおり餌づけを継続
5 山形県	自粛を喚起	最上川では独自判断で餌づけを自粛
6 福島県	自粛を喚起	阿武隈川や猪苗代湖で餌づけを継続
7 新潟県	自粛を喚起	瓢湖などで従来どおり餌づけを継続

※資料提供/町観光協会

# 今後の行方

白鳥と人間の共生を考える「白鳥フォーラム」は二月二十一日、おいらせ町農村環境改善センターで開かれた。今年のテーマは「鳥インフルエンザ」。専門家の視点や地域の意見を紹介しながら、今後の行方を考える。



鳥インフルエンザをテーマに開かれた今年の「白鳥フォーラム」

鳥インフルエンザは人へも感染するウイルス  
地域資源と言えども  
餌づけが許されない時代

日本白鳥の会 副会長

## 古川博

話題提供



昨年四月、十和田湖で死亡した白鳥からH5N1型鳥インフルエンザウイルスが検出されました。これが餌づけの自粛につながったのは、ご存じのとおりです。白鳥の主な死因は、餌をとれないことによる餓死、病原菌による病死、散弾銃の弾を飲み込む鉛中毒などが知られています。中でも鉛中毒は、専門家の間でもよく話題になります。

今回の鳥インフルエンザ検出は、さらに大きな問題を抱えています。それは、もしかしたら人間に感染するかもしれないのです。現在騒がれているウイルスは、野生の鳥が体内に持っているものです。基本的に

人間に感染することはないといわれています。しかし、鳥インフルエンザは極めて変異しやすいといわれています。高病原性へ変化したウイルスは、人間に感染する可能性があります。現に、人と家禽の生活が一体化している東南アジアの一部地域では、野生鳥獣から家禽、そして人間へという感染経路で、数百名が死亡しています。

高病原性の鳥インフルエンザウイルスは、強い毒性で、爆発的な感染力を持ちます。H5N1型ウイルスに対して免疫を持たない人間や家禽への感染が、もつとも恐れられています。また、家禽への感染も懸

念されています。白鳥やカモが、養鶏場の鳥と直接接点を持つことはないでしょう。しかし、ふんなどを介して、鳥類やネズミがウイルスを運ぶ可能性は、十分に考えられます。

野生鳥獣、特に白鳥は、人間が安らぎを求め、餌を与えて身近に接してきました。日本白鳥の会でも、餌づけの是非はいつも議論になります。

PROFILE

ふるかわ・ひろし 日本白鳥の会副会長。1935年むつ市生まれ。93年高校教員を退職後、現職に。ロシア極東での白鳥調査なども手がける。ラムサール条約登録地の弘沼NPO『おせっかランド』理事も努める。むつ市在住、73歳

今冬、県内各地の湖沼で

白鳥飛来数が激減

餌づけ自粛の影響が

顕著に

日本白鳥の会 理事

## 阿部誠一



情報提供

日本野鳥の会青森県支部では、青森県内の主な湖沼に飛来するガン、カモやハクチョウ類の飛来数を定期的に計測しています。

それによると、県内のハクチョウ類の飛来数は、〇二年冬以降、毎年のように年間五千五百羽ほどで推移してきました。

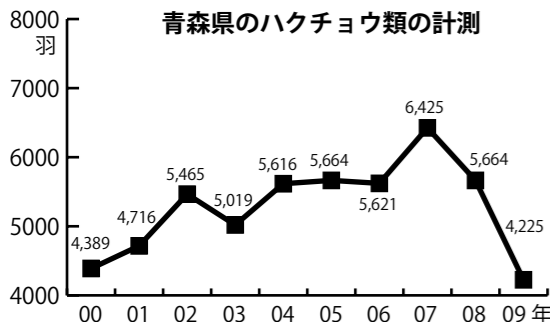
ところが今冬は、県全体で四千二百羽ほどにとどまっています。例年より千五百羽も少ないのです。中でも、これまで餌づけを続けてきた飛来地の激減ぶりは顕著で、おいらせ町の間木堤をはじめ十分の程度まで減ったという報告も複数受けています。

データから見ても、餌づ

け自粛が、白鳥飛来数の減少に大きな影響を与えていることは言うまでもありません。

PROFILE

あべ・せいichi 日本白鳥の会理事、日本野鳥の会青森県支部会員。1958年、むつ市生まれ。青森県内の野鳥飛来状況を長年調査し続けている。むつ市在住、50歳



計測日 1月第2日曜日

◎青森県ガン・カモ・ハクチョウ類調査 00-09年/日本野鳥の会青森県支部・弘前支部

提案

長い時間をかけて、地域と行政が力を合わせてつくりあげてきた白鳥飛来地間木堤。そこに白鳥が来なくなってしまうのは、大変残念なことです。



白鳥の餌となるマコモ。「マコモを増やすだけでなく、白鳥を呼び戻すだけでなく、地域全体の自然環境の回復にもつながる」と榎山さん。

餌づけが禁止され、パンや穀物などの餌を人間が与えられなくなった以上、マコモなど自然の餌を増やして白鳥を呼び戻すしかありません。でも、マコモを植えるだけでは、白鳥たちが根こそぎ食べつくしてしまうかもしれません。

そこで提案したいのが、協力していただける方がいれば、一口いくらかのお金をいただく「オーナー制」を進めたいと考えています。この取り組みは、間木堤に白鳥を呼び戻すだけでなく、地域全体の自然環境回復につながると思います。

PROFILE

ならやま・ただし 白鳥を愛する会会員、間木町内会長。1944年、おいらせ町生まれ。1967年八戸グランドホテル入社時から、間木堤へパンの耳を提供し続けてきた。白鳥の再来を願って自作したマコモ苗床は、実現性の高い有効な手段として専門家も注目。おいらせ町間木地区在住、65歳

## 榎山忠

白鳥を愛する会会員、間木町内会長

餌づけが  
できないなら  
自然の餌を増やそう  
マコモ栽培は有効な手段



**取材を終えて**  
もの言わぬ自然が  
教えてくれるもの

オオハクチョウやコハクチョウは、夏に北極圏で卵を産み、ヒナを育てる。短い夏の間ヒナは大きく育ち、3カ月ほどで親鳥と同じくらいに成長する。9月には親鳥と共に、何千キロも離れた日本へ渡り、そして越冬する。

おいらせの人たちは、そんな白鳥を愛し、長い年月をかけて、餌づけ活動を続けてきた。そして、白鳥たちは、数ある日本の湖沼の中から、間木堤や根岸堤を「越冬地」に選んだ。

今冬の白鳥激減は、白鳥との共生を目指す町にとって、自然保護への警鐘だったのかもしれない。餌づけなしに越冬できる環境こそ、白鳥が本当に望んでいる場所のように思える。

4月半ばには、おいらせの白鳥のほとんどが、北を目指して飛び立っていく。もの言わぬ白鳥から学んだことは大きい。餌づけによって結ばれていた地域は今、自然回復という共通の願いによって新たなスタートを切った。白鳥の再来を信じて。

特集 おわり

**特集の  
意見や感想を寄せてください**

- おいらせ町企画課  
☎ 0178-56-4701
- ホームページ・町民の声  
<http://www.town.oirase.aomori.jp>

今後の展開はどうなるのだろうか。あらためて坂井田主査に聞いた。

「餌づけと並行して、自然の餌であるマコモを間木堤に移植してきました。マコモは成長すると二層にも成長するイネ科の植物です。白鳥はその根を好んで食べます。もともと間木堤には、たくさんのマコモが群生していました。でも白鳥に食べつくされ、近年は、

ほとんどなくなっていました。十年ほど前から、近くの休耕田を活用してマコモを増やしています。今後は移植範囲をさらに拡大して、植生回復を進める予定です」

植生回復を確実にするため、さらに別の対策も検討しているという。それは、経年劣化が少ない繊維を使用した人口浮島やロールを使い、マコモを定着させると

# もう一度 白鳥を 迎えるために

餌づけから  
自然回復へ



1\_間木堤西側の休耕田を利用した「マコモ栽培田」 2\_マコモ栽培田から株を切り取り、間木堤内の島へ移植する作業。マコモ定着を促すため、防護ネットで保護している 3\_町が検討している植生回復の手法。人口浮島や護岸ロールを設け、マコモを根付かせる。餌の確保だけでなく、水質を浄化する作用も期待される

いうものだ。特に人口浮島は、変動する水位と関係なく常に水面に浮かんでいるため、水鳥の休息場所としての機能も期待できるといふ。「経費はかかりそうだが、補助事業などを活用しながら、実現に向け検討を重ねている」と坂井田主査。

植生回復は、白鳥の餌の確保だけでなく、水質浄化など、この地に生息する多くの生物を支える環境づくりに一役買う。激減した白鳥を呼び戻すだけでなく、次代へ美しい間木堤を引き継いでいくために欠かせない「水辺環境の再構築」への挑戦でもある。

白鳥と共に生きてきたおいらせの人たち。再来を願う気持ちだが、新しいアイデアを生み出している。



（地域で支える  
人たちの思い）

## パン切りは年寄りたちの 楽しみだった

### 間木パン切りグループ

間木堤で観光客に提供していたパン。このパンをきれいに切りそろえていたのが間木パン切りグループだ。餌づけの自粛によって、活動を休止している皆さんに話を聞いた。



パン切り専用の木枠を見せてくれた袴田セヨさん。もちろん市販されていない。「パン切り」のために特別に製作したものだ。

袴田幸代さん(75) = 間木 = 宅にある小屋。毎年冬になると、地域のお年寄りたちが集まり、談笑しながら餌づけ用のパンの耳を切っている。しかし、餌づけを自粛した今冬の活動はない。

袴田英子さん(77) = 間木 = は「みんなでわい

わい話をしながらパン切りするのは、冬場の楽しみでした」と懐かしむ。

「パン切り」を始めたきっかけを幸代さんは「袴田(健義)町長(故人)がね、白鳥たちのためにパンを切ってくれないか。町にはお金がないから、みんなの力を借りたいってお

願いに来たんです。わたしたちにできることならって始めました」と語る。

袴田セヨさん(84) = 間木 = は「何十年も続けてきたものがなくなるのは残念だね。せっかく立派な駐車場ができたのに、お客さんが来なくて間木堤は静か。これから何ができるのか、少しでも力になれたらいいんだけど」と寂しそうだ。

高齢者の力を活用した「パン切り」は、間木のお年寄りたちにとって生きがいの一つ。高齢化が進む中、地域のコミュニティづくりにも一役買う取り組みだった。

餌づけ自粛は、さまざまな分野で、地域の人たちの心を複雑に揺らしている。



パン切り小屋で。左から袴田武子さん、袴田幸代さん、袴田セヨさん、袴田八重さん、袴田サクラさん、袴田タケさん、袴田英子さん、袴田ソヨさん。パン切りをしながら間木堤の冬の観光を支えてきた。

**PROFILE**

間木のパン切りグループ  
おいらせ町間木地区の高齢者たちが集まるグループ。平成3年ころから、老人福祉センターに集まり、白鳥の餌としてパンの耳を切ってきた。近年は袴田幸代さん宅の小屋で作業を行っている。

<p>Winter Bird Watching at Magi-Tsutsumi</p> <p><b>キンクロハジロ</b></p> <p>■学名/Aythya fuligula ■体長/約40cm ■繁殖地/ロシア・ヨーロッパ</p>	<p><b>ホシハジロ</b></p> <p>■学名/Aythya ferina ■体長/約45cm ■繁殖地/ロシア・ヨーロッパ</p>	<p><b>コガモ</b></p> <p>■学名/Anas crecca ■体長/約40cm ■繁殖地/ロシア・ヨーロッパ</p>	<p><b>マガモ</b></p> <p>■学名/Anas platyrhynchos ■体長/約60cm ■繁殖地/北米・ロシア・ヨーロッパ</p>	<p><b>オナガガモ</b></p> <p>■学名/Anas acuta ■体長/雄・約75cm 雌・約55cm ■繁殖地/北米・ロシア・ヨーロッパ</p>	<p><b>カルガモ</b></p> <p>■学名/Anas poecilorhyncha ■体長/約60cm ■繁殖地/東アジア一帯(留鳥)</p>	<p><b>コハクチョウ</b></p> <p>■学名/Cygnus columbianus ■体長/約120cm ■体重/約6kg ■繁殖地/ロシア・北米</p>	<p><b>オオハクチョウ</b></p> <p>■学名/Cygnus Cygnus ■体長/約140cm ■体重/約10kg ■繁殖地/ロシア</p>
--	---	---	---	---	---	--	--

間木堤で  
会える  
主な  
冬鳥たち

## おいらせの”んめえもの”

特産品試食会・模擬審査会



2月26日、「おいらせの”んめえもの”特産品試食会・模擬審査会」が東公民館で行われました。

これは平成21年度から始まる「おいらせブランド品等認定制度」に向けた取り組み。会場には「銀の鴨」や「黒にんにく」など、30種類の特産品が勢ぞろい。審査員は真剣な表情で採点していました。

◀桃川株式会社の『森のリキュール 神ツ実酒』を試飲する澤上昌子さん＝写真右／苦米地＝。「女性向きのほどよい甘さがいいですね。贈り物にも喜ばれそうです」と、満面の笑みで話してくれた。

## 未来のアスリートへ熱血指導

A S Oバレーボール講習会



2月14日、15日の2日間、交流センターと農村環境改善センターを会場に『A S Oバレーボール講習会』が行われました。参加者は小学生、中学生合わせて約70名。

講師の工藤憲さん＝北海道江別市バレーボール少年団総監督＝は、参加者に熱く語りかけながら指導しました。

◀実際の動き方を示しながら指導する工藤さん。受講した長谷川深介君＝木ノ下小3＝は、「ドライブがかかるスパイクの打ち方を教えてもらいました。これからの練習に生かしたいです」と、手ごたえをつかんでいた。

## 農業経営のヒントを学ぶ

農業講座



2月27日、東公民館で農業講座が行われました。当日は約50名の農業者が参加しました。

ミニトマト栽培の法人経営について、斉藤靖彦さん＝青森県農業経営士会長＝、東京市場での農産物流通や市場価格について、酒井敏夫さん＝東京神田青果市場株式会社＝から話題が提供されました。

◀講師の話に真剣に耳を傾ける角倫一さん＝写真左／豊栄＝。「いつも野菜を生産している側なので、流通の現場のことはほとんど分らなかった。市場価格の変動のしくみを知ることができた。今後の経営に生かしていきたい」と意欲を燃やしていた。

## 町の伝統芸能を堪能

民俗芸能発表会



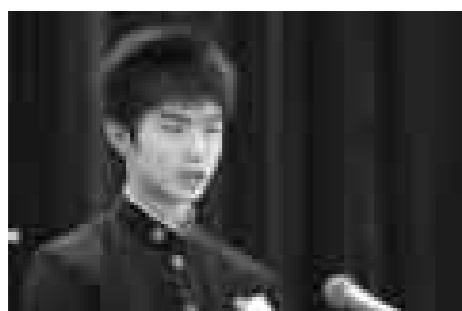
2月22日、交流センターで「民俗芸能発表会」が行われました。このイベントは町の伝統芸能団体が一堂に集い行われたものです。

来場者はえんぶりや獅子舞、駒踊りなど多彩な舞に、惜しめない拍手を送っていました。

◀本村鶏舞の代表格『タイシカ』役で舞う村田大歩さん＝下田小5＝。華麗な舞いで観客を魅了した。  
■出演 百石えんぶり／日ヶ久保虎舞／若宮八幡宮大権現／南部百石駒踊り／本村鶏舞／本村獅子舞／本村さんさ踊り

## 希望を胸に抱き羽ばたく

中学校卒業式



3月5日、町内3中学校で卒業式が行われました。

取材に訪れた百石中学校（加賀一校長）では、125名の生徒が卒業生として巣立ちました。加賀校長は、「中学校卒業は一つの節目。これからも自分自身の足で、一步一步道を踏み締めて成長してほしい」と、卒業生を激励しました。

◀答辞を述べる百石中生徒会長の古川康平さん＝洋光台＝。「自分たちを大きく成長させてくれた3年間だった。百石中学校の輝かしい伝統を、後輩のみんなは誇りに思っ引き継いでほしい」と、中学校生活の思い出を熱く語った。若人たちは希望を胸に、明日へ羽ばたく。

## 元気はつらつ さわやかな汗

ソフトバレーボール大会



2月22日、下田中学校で「第2回おいらせ町ソフトバレーボール大会」が行われました。

参加した8チーム、40人は、さわやかな汗を流しながら交流を深めました。

◀ボールを懸命に追う選手たち。ママさんバレーボール協会の西館恵美子さんは「昨年よりも一段とレベルの高いプレーが見られました。次回はファミリーの部も開催したいですね」と、笑顔で答えてくれた。

## ”北の護り”の拠点完成

下田消防団第8分団屯所落成式



3月8日、下田消防団第8分団屯所落成式が行われ、関係者約70名が完成を祝いました。

人口増加が著しい北部地区を主に担当する第8分団。今後の活躍が期待されています。

◀新しい屯所前での記念撮影。佐藤市三郎分団長＝向山＝は、「さまざまな方々の協力があってこそできた屯所。これからも団員と一致団結して、安心、安全なまちづくりに力を入れていきます」と、強い決意で語った。

## 英霊の思いを引き継ぐ

町遺族会設立総会



2月26日、「おいらせ町遺族会設立総会」が月見旅館で開催されました。旧下田、旧百石両町の遺族会が発展的に合併し、誕生したものです。

総会では会員が今後の運営を真剣に議論。新会長に小笠原春美さん＝木内々＝を選出し、新たなスタートを誓いました。

◀英霊の御霊に黙とうをささげる会員。終戦からすでに60年以上が経過している現在、戦争体験を知る世代は年々少なくなっている。今の平和な日本は英霊たちの犠牲の上に築かれたことを、後世まで伝えていかなければならない。

# おいらせ町表彰 文化に関する表彰 授与式

3月1日、みなくる館で行われた表彰授与式では、36名の方が表彰されました。この表彰は、町表彰条例、町文化に関する表彰規則に基づき、町の振興発展に寄与し、功績が顕著な方々を表彰するものです。



1 表彰者全員での記念撮影 2 受賞者を代表し、謝辞を述べる蛭名幸政さん=曙=。白鳥保護監視員として11年間活動を続けた。町の自然保護に寄与したことが評価され、善行表彰に輝いた

## 町表彰

### ■善行表彰（八名）■

ももいし白鳥を愛する会  
平成三年の会発足から十七年余りの長きにわたり、根岸堤に飛来する白鳥の愛護活動を継続して実施し、町の自然保護に寄与しました。

### ■蛭名幸政 二曙■

平成九年から十一年余りの長きにわたり、白鳥保護監視員として間木堤に飛来する白鳥の愛護や周辺環境の整備に尽力。町の自然保護に寄与しました。

### ■橋本とせ 二堀切川■

### ■小向サツ 二根岸■

### ■西館恵美子 二深沢■

### ■澤口ミツヨ 二一川目■

### ■笹川せつ 二一川目■

### ■倉館愛子 二二川目■

二十五年余りの長きにわたり、町保健協力員を務める。地域の保健活動を積極的にを行い、検診率の向上や地域住民の健康づくりに貢献しました。

### ■顕彰（十二名）■

今年度の国の栄典制度に基づく叙勲、褒章を受章された方々に対し、その栄誉をたたえ顕彰するものです。

### ■風穴由紀子 二上新町■

二十九年余りの長きにわたり、書道の指導と後継者育成に尽力。文化の普及と発展に貢献しました。

### ■蛭名節子 二本村■

二十年余りの長きにわたり、書道の指導と後継者育成に尽力。文化の普及と発展に貢献しました。

### ■文化奨励賞（四名）■

### ■永島加津子 二豊原■

十八年余りの長きにわたり、日本舞踊の普及と後継者育成に尽力。施設慰問などで活発に活動しています。

### ■堤 輝雄 二本村■

十五年余りの長きにわたり、本村獅子舞、本村鶏舞の保存普及と後継者育成に尽力。文化の普及と発展に貢献しました。

### ■春の叙勲・旭日双光章（地方自治功労）

北向敬夫 二上新町■  
永年にわたり地方自治の振興発展に寄与しました。

### ■春の叙勲・旭日単光章（農業振興功労）

山崎由三 二洗平■  
永年にわたり農業振興に寄与しました。

### ■春の叙勲・瑞宝単光章（消防功労）

坂井田慎吉 二三田■  
永年にわたり消防、防災活動に寄与しました。

### ■危険業務従事者叙勲・瑞宝双光章（防衛功労）

前田秀治 二錦ヶ丘■  
永年にわたり国家防衛のため危険な業務に従事しました。

### ■高齢者叙勲・旭日単光章（地方自治功労）

故 蛭名兵吾 二本村■  
永年にわたり地方自治の振興発展に寄与しました。

### ■危険業務従事者叙勲・瑞宝双光章（防衛功労）

高橋要三 二阿光坊■  
永年にわたり国家防衛のため危険な業務に従事しました。

### ■工藤 亨 二洋光台■

二十五年余りの長きにわたり、鶏舞の保存普及と後継者育成に尽力。文化の普及と発展に貢献しました。

### ■橋本小三郎 二明神下■

二十年余りの長きにわたり、鶏舞の保存普及と後継者育成に尽力。文化の普及と発展に貢献しました。

### ■文化教育奨励賞（三名）■

### ■坂井田智子 二三本木■

百石高等学校食物調理科（蛇沼明宏／坂井田智子／根市由夏）「全国高校生対抗ごはんCUP 2008」決勝大会で準優勝しました。

### ■奥平光紀 二緑ヶ丘■

「第十八回日本クラシック音楽コンクール全国大会」音楽部門入賞などが評価された。今後は関西の劇団に入団し、本格的にミュージカルを学ぶという。

## 町文化に関する表彰

### ■文化賞（一名）■

小原洋子 二鶉久保■  
公募日本習字展で文部科学大臣賞ほか多数の賞を受賞。町内でも書道の普及、文化発展に貢献しました。

### ■文化功労賞（六名）■

### ■種市フミ 二向山■

二十年余りの長きにわたり、さきおりの普及と指導に尽力。文化の普及と発展に貢献しました。

### ■日ヶ久保幸雄 二日ヶ久保■

三十五年余りの長きにわたり、日ヶ久保虎舞の保存普及と後継者育成に尽力。文化の普及と発展に貢献しました。

### ■日ヶ久保一男 二日ヶ久保■

三十年余りの長きにわたり、日ヶ久保虎舞の保存普及と後継者育成に尽力。文化の普及と発展に貢献しました。

### ■小向正教 二洋光台■

十八年余りの長きにわたり、百石えんぶりの保存普及と後継者育成に尽力。文化の普及と発展に貢献しました。

### ■危険業務従事者叙勲・瑞宝単光章（防衛功労）

### ■菅野 武 二豊原■

### ■佐藤正夫 二間木■

### ■長瀬勇一 二藤ヶ森■

### ■増淵充侑 二鶉久保■

永年にわたり国家防衛のため危険な業務に従事しました。

### ■秋の叙勲・旭日双光章（地方自治功労）

### ■熊野清市 二一川目■

永年にわたり地方自治の振興発展に寄与しました。

### ■秋の叙勲・瑞宝単光章（消防功労）

### ■小田正治 二三田■

永年にわたり消防、防災活動に寄与しました。

### ■感謝状（二名）■

### ■鈴木泰文 二日ヶ久保■

向学の念に燃える有用な人材育成のため、町奨学資金へ多額の寄付をしました。

### ■高橋久雄 二曙■

平成二十年三月の定年退職にあたり、教育発展のため、町奨学資金へ多額の寄付をしました。



3 文化賞に輝いた小原洋子さん=鶉久保=。公募日本習字展で文部科学大臣賞を受賞するほか、書道普及活動が評価された。4 文化教育奨励賞に輝いた奥平光紀さん=緑ヶ丘=。日本クラシック音楽コンクール全国大会音楽部門入賞などが評価された。今後は関西の劇団に入団し、本格的にミュージカルを学ぶという。





# 主な新規事業・拡大事業

## 防災対策

**百石中学校校舎改築事業<sup>1</sup>**  
校舎を建て替え、耐震基準に適合するようにします。工事は平成二十二年度までの予定です。

**防災無線・戸別受信機等設置事業<sup>2</sup>**  
町内全域に戸別受信機を設置し、災害情報を速やかに、かつ確実に伝えます。

**耐震等改修設計**  
木内々小学校、いちよう公園体育館の耐震改修をするため、設計を行います。

**役場分庁舎耐震診断<sup>3</sup>**  
分庁舎の耐震診断を行い、今後の改修工事などを検討します。

## インフラ整備の加速

**町道整備事業**  
事業費を大幅に拡大し、利便性の向上を図ります。

**農道整備・保全事業**  
県営事業により農道の改良工事を行います。



## 地域ブランドの確立

**おいらせブランド推進支援事業<sup>4</sup>**  
おいらせブランド推進事業を補助し、地域ブランドの確立を支援します。

## 経済的負担の軽減

**妊婦健診無料化**  
十回までの公費負担を十四回に拡大し、原則無料化を図ります。

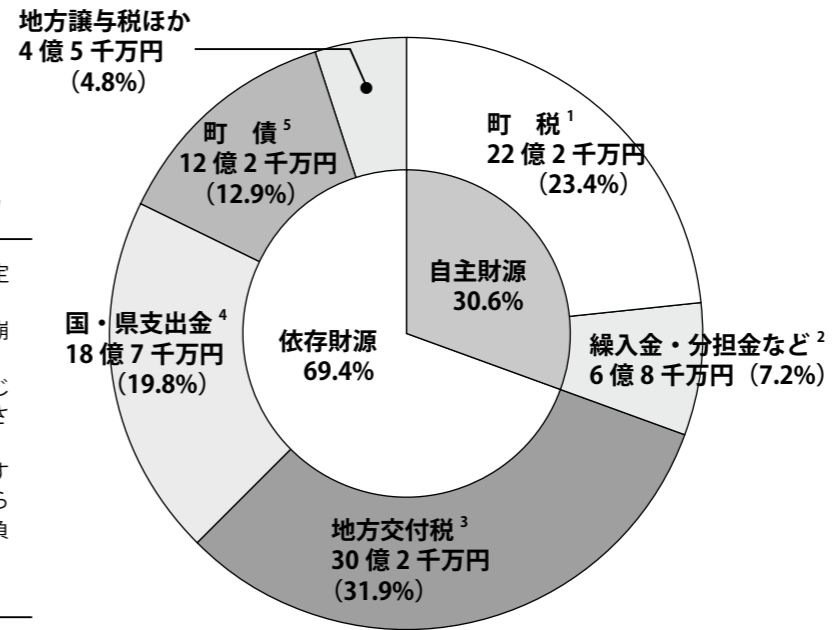
# 重点事業の実施で前年度比七・八割増

平成 21 年度

# 当初予算

▷平成 21 年度当初予算が、町議会 3 月定例会で成立しました▷予算は町民の生活と密接なかかわりをもっているものです

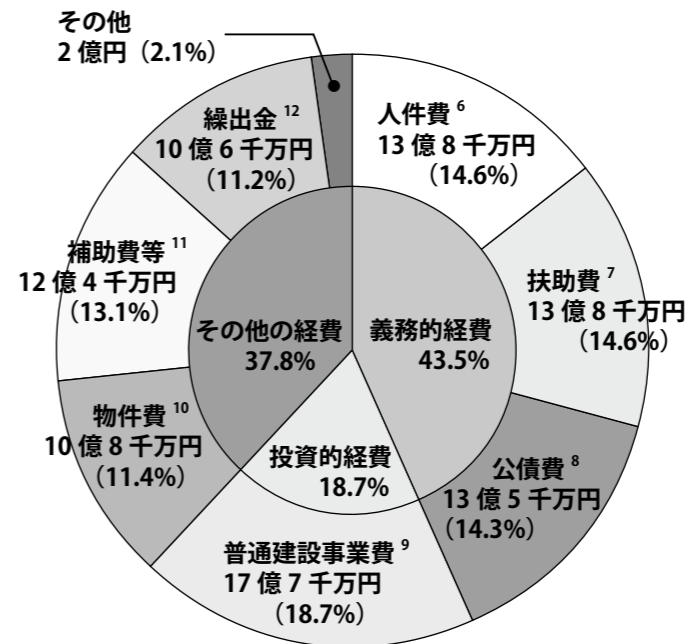
歳入 94 億 6 千万円



### Keyword

- 1\_ 町民税や固定資産税など
- 2\_ 基金の取り崩しなど
- 3\_ 財政力に応じ国から交付されるもの
- 4\_ 事業等に対する国や県からの補助金、負担金
- 5\_ 町の借入金

歳出 94 億 6 千万円



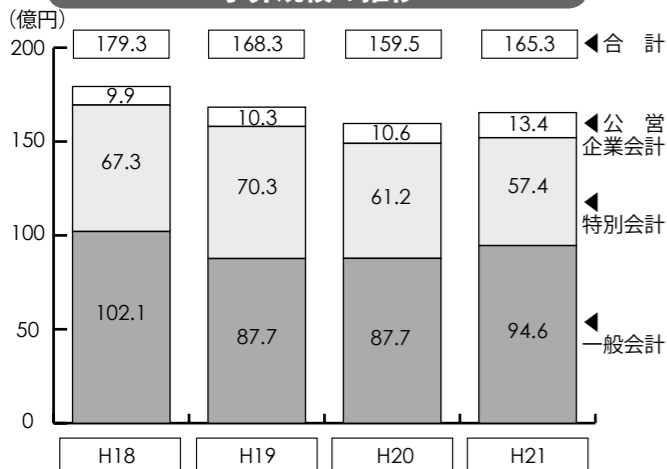
### Keyword

- 6\_ 職員の給料など
- 7\_ 保育園運営費、児童手当など
- 8\_ 借入金の返済
- 9\_ 道路などの建設費用
- 10\_ 委託料、高熱水費など
- 11\_ 広域事務組合の負担金、団体への補助交付金など
- 12\_ 特別会計に対する支出

## 予算の規模

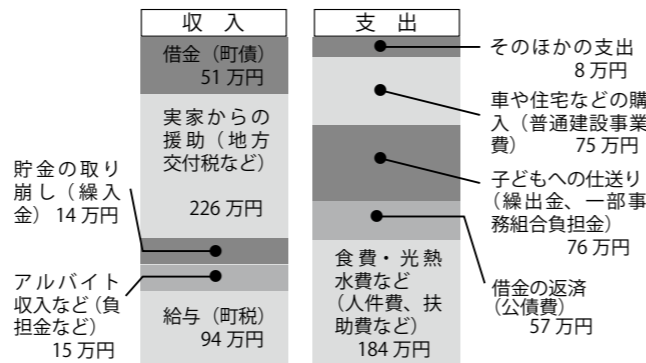
会計区分	予算額	前年度比
一般会計	94 億 5,500 万円	+ 7.8%
特別会計	57 億 3,671 万円	△ 6.3%
国民健康保険特別会計	26 億 707 万円	△ 1.8%
老人保健特別会計	1,018 万円	△ 93.1%
奨学資金貸付事業特別会計	1,825 万円	+ 11.6%
公共下水道事業特別会計	12 億 680 万円	△ 9.8%
農業集落排水事業特別会計	1 億 449 万円	+ 3.5%
介護保険特別会計	15 億 9,240 万円	+ 3.2%
霊園事業特別会計	1,430 万円	+ 2.9%
公共用地取得事業特別会計	4,765 万円	+ 4.7%
後期高齢者医療特別会計	1 億 3,557 万円	△ 48.0%
公営企業会計	13 億 3,825 万円	+ 26.3%
病院事業会計 (収益)	9 億 6,309 万円	+ 6.0%
病院事業会計 (資本)	3 億 7,516 万円	+ 149.5%
合計	165 億 2,996 万円	+ 3.6%

## 予算規模の推移



## 町の予算を「年間生活費 400 万円の家計」に例えると

- もともと給与(町税)が少なく、食費や光熱水費など(人件費、物件費、扶助費)を賄いきれていません。さらに急激な経済の悪化で、給与が減少しました。
- 実家(国・県)も家計が思わしくないため、実家からの援助(地方交付税、国・県支出金など)は近年減らされていました。でも、子(地方自治体)の窮状を見かねて、援助の金額を増やしてくれました。
- それでも予定していた車や住宅などの購入(普通建設事業)費用は賄いきれず、貯金の切り崩しと借金が必要でした。今後は支出を節約しなければ、貯金が底をついてしまうかもしれません。



▲詳細はホームページ / <http://www.town.oirase.aomori.jp> をご覧ください

## 歳出 年間支出

予算規模は拡大していますが、経費削減のため、普通建設事業費以外は前年度より〇・七割程度減少しています。人件費は合併時の平成十七年度と比べ、約二億円減少しています。主に職員数の減少によるものです。一方で、防災対策やインフラ整備などの重点事業により、普通建設事業費は前年度より七十二・一割増加しています。

## 歳入 年間収入

急激な景気の悪化で、町税などの自主財源の減少が見込まれます。厳しい財政状況ですが、経費削減の取り組みにより、基金の取り崩し額は前年に比べて減少しています。重点事業の実施により、普通建設事業費が大きく伸びました。そのため、国・県支出金は前年度比二十五・八割の増、町債は同八十二・九割の増となっています。

## 今年度予算の特徴

一般会計は、前年度に比べて七・八割増加し、総額九十四億五千五百万円になりました。また、定額給付金など、平成二十年度予算から繰り越される政府の経済対策の分を合わせると、実質百億円規模の大型予算となっています。

# 定額給付金の申請書類が届いたら！

今年の2月1日現在で当町の住民基本台帳に登録されている世帯主の皆さんへ、3月18日頃から随時、定額給付金にかかる申請書を送付しております。ここで手続きの概要についてご説明いたします。なお、お届け方法は、安全で確実な「簡易書留郵便」で送付しております。地域によっては、届くまでお時間がかかる場合もありますので、ご了承ください。

安全で確実な「口座振込み」による①と②の方式が原則です！

## 申請方法は次の3種類です

- ① 郵送申請方式～郵送により町に提出し、町が申請者から通知された金融機関の口座に振り込む方法です。
- ② 窓口申請方式～申請者が町の窓口へ提出し、町が申請者から通知された金融機関の口座に振り込む方法です。
- ③ 窓口申請・現金受領方式～申請者が口座を持たないなどやむを得ない場合、申請者が申請書を町の窓口へ提出し、後日、会計課窓口（本庁舎）、もしくは、分庁サービス課（分庁舎）で現金によりお支払する方法です。

添付書類をコピーできる方は、時間にとらわれることなく自宅で作成して郵送で申請できます！

### ① 郵送申請方式

- (1) 送付されている説明書を参考に申請書を作成してください。（押印を忘れずに！）
- (2) 申請書を提出する際は、次の2点の書類を添付してください。（申請書の裏に貼り付けてください。）
  - 1) 本人確認書類：申請者の公的身分証明書（写真付き住民基本台帳カード、運転免許証、旅行券）の写し
  - 2) 口座確認書類：振込口座の金融機関名、口座番号、口座名義人（カナ）が分かる通帳やキャッシュカードの写し
- (3) 同封の返信用封筒に入れて、返送してください。町では、内容に誤りがないかを確認した上で、振込み期日を明記した「交付決定通知書」を送付します。なお、「ゆうちょ銀行」は、一般の金融機関より振込みにお時間がかかります。

添付書類をコピーできない方、記載方法が分からない方。そして、口座を持たない方は！

### ② 窓口申請方式（③窓口申請・現金受領方式を含む）

- (1) 窓口へ申請書と、郵送申請方式の(2)で書かれている2点の書類（本人確認、口座確認）と印鑑をご持参ください。（世帯主以外の世帯構成者でも申請できますが、その際は代理で申請する方の公的身分証明書をご持参ください。）
- (2) 受付後、内容に誤りがないかを確認した上で、後日振込期日を明記した「交付決定通知書」を送付します。なお、「ゆうちょ銀行」は、一般の金融機関より振込みにお時間がかかります。
- (3) 窓口による受付会場を次のとおり設けます。（※4月13日(月)以降は本庁舎2階総務課で受付いたします。）

受付期間及び時間	3月25日(水)から3月31日(火)まで 9時～19時	※期間中は、土・日も受付いたします
	4月1日(水)から4月10日(金)まで 9時～17時	
会場	(1) 本庁舎(2階203会議室) (2) 分庁舎(4階401会議室) (3) 北公民館(会議室)	

振り込め詐欺にご注意ください

## 不審な電話がかかってきた場合は、迷わず役場総務課か三沢警察署へ

申請において不明な点があった場合、町から問合せを行うことがありますが、定額給付金事業では直接ATM（現金自動預払機）の操作をさせることはありません。実際に町から受給者に連絡する際は、担当者が申請書に付された番号等、町と受給者しか知りえない事項を明示した上で、お話をさせていただきます。

●問合せは	▶ 総務課（本庁舎2階）	TEL 0178-56-2166
●不審電話に関する相談窓口	▶ 三沢警察署	TEL 0176-53-3145（内線217）

みんなのおいらせ町  
いつまでもきれいに

町全域で清掃運動を行います。みんなの力を結集して、ごみのない美しいまちをつくりましょう

#### ■実施日時

四月十九日(日)  
六時から八時まで

#### ■作業内容

①空き缶などのごみ拾い  
可燃ごみ、不燃ごみに分別し、各町内会で定めた集会施設などにまとめて置いてください。十和田地域広域事務組合の指導で、ごみ収集ステーションに置くことはできませんので、ご注意ください。  
②道路側溝の泥上げ  
側溝から上げた泥は、最終処分場へ運搬してください。

#### ■作業用具

軍手、スコップ、デレキなどは各自で準備ください。ごみ袋と土のう袋は、各町内会へ事前配布します。

#### ■砂利補修

地域整備課（TEL 0178-56-4702）へお問い合わせください。

#### ■問合せ

環境保健課（分庁舎1階）  
TEL 0178-56-4218

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

有楽町/阿光坊/本村/新敷 錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鶴久保/木ノ下/豊栄/豊原 向山/苔米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙 木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ 団地/藤ヶ森/いちよう団地/堀切 川/川口/明神下/横道/日ヶ久保	町内会
毎週月・木曜日		毎週火・金曜日	燃えるごみ
4月24日(金)		4月28日(火)	燃えないごみ
缶・プラスチック プラスチック	4月1日(水) 4月15日(水)	紙 びん	4月8日(水) 4月22日(水)
4月10日(金)・24日(金) ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です			資源ごみ
			粗大ごみ

◎祝日も収集いたします

●問合せ 環境保健課（分庁舎1階） TEL 0178-56-4218

**行動目標** 健康・疾病予防に関心を持とう

**現状と課題**

- ▷各種健診・精密検査の受診率が低い状態です。情報提供を積極的に行い、検診を受けやすい体制づくりが必要です。
- ▷基本健康診査の結果では、特に男性に「要指導・要医療」の割合が高いです。血糖については男女とも改善傾向とはいえません。健康教室等に参加しやすい環境づくり、自分の健康に関心をもてるような取り組みが必要です。

**ポイント**

- ▷自分の健康に関心を持ち、自己管理できるようにしよう
- ▷健診を定期的にうけよう
- ▷健康に関する相談機関を積極的に利用しよう

地域全体でできる取り組みは？

**家庭では**

- 自分と家族の健康に関心をもとう
- 自分と家族の健康について相談しあえるようにしよう
- 1人1つは健康づくりに取り組めるようにしよう
- 健康づくりの催しに参加しよう
- 健康についての相談機関を利用しよう
- 早期受診・早期治療に努めよう

**職場では**

- 健康づくりについて学習しよう
- 毎年健康診査を受けるようにしよう
- 精密検査や保健指導を必ず受けよう
- 健康管理体制のマニュアルを作ろう
- 職場ぐるみで健康づくりに取り組もう
- 健康に関する相談機関を利用しよう

**保育施設や学校では**

- 疾病予防について学習しよう
- 健康診査を受けよう
- 精密検査・保健指導を必ず受けよう
- 健康について相談できるようにしよう

**地域では**

- 地域で健康づくりに関するイベントを企画し、実行しよう
- 誘い合って健診を受けよう
- 相談しあえる仲間づくりをしよう
- 健康に関する情報を共有しよう

**行政は**

- 疾病予防についての知識の普及や啓発
- 参加しやすく、効果のある健康教育や保健指導の実施
- 地域組織の育成や支援
- 受診しやすい健診体制の整備
- 予防接種の実施
- 健康に関する相談体制の整備
- 健康に関わる各団体との連携

Information

環境保健課（分庁舎1階）  
Tel 0178-56-4218

活\*活\*活\*  
ランランプラン

町民の皆さんが健康で明るく生活できる町をつくるため、健康増進計画を策定し、6つの健康づくり施策に取り組んでいます。今回は「疾病予防」をご紹介します。



▲町長へ男女共同参画プランの策定を報告する町男女共同参画推進会議の葛原美恵子会長

プランの概要

目指す姿

自分らしく一人ひとりが輝くまち  
共にささえ共に暮らす笑顔あふれるまち

基本目標Ⅰ

意識をかえよう  
男女共同参画社会に向けた意識づくり

- 1 あらゆる機会における男女共同参画の意識づくり
- 2 男女共同参画の視点に立った社会制度や慣行の見直し・女性の参画推進

基本目標Ⅲ

助けあおう  
話し合い、分かち合う家庭・地域づくり

- 5 男女の職業生活と家庭生活の両立支援
- 6 子育て支援の充実
- 7 高齢者等の介護支援の充実
- 8 心と体の健康づくりの推進
- 9 人権尊重意識の啓発
- 10 ドメスティック・バイオレンス\*、セクシャル・ハラスメント、児童虐待等人権侵害対策の推進

基本目標Ⅱ

環境をつくろう  
男女が共に能力を発揮できる職場づくり

- 3 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
- 4 農林水産業・商工自営業におけるパートナーシップの確立

基本目標Ⅳ

参画しよう  
男女が共に参画するしくみづくり

- 11 あらゆる分野における方針決定過程への女性の参画促進
- 12 庁内における男女共同参画体制の強化
- 13 担い手となる人材の育成

おいらせ町配偶者からの暴力防止及び被害者支援計画=概要=

基本目標Ⅰ

DVの予防

基本目標Ⅱ

被害者の保護と自立支援

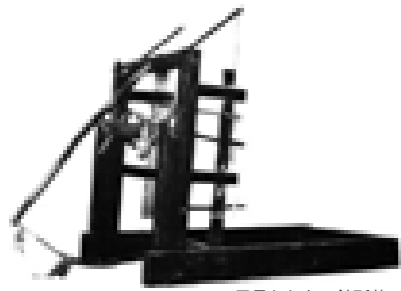
基本目標Ⅲ

相談体制の充実と関係機関の連携

▲詳細はホームページ / <http://www.town.oirase.aomori.jp> をご覧ください

\*=DV=配偶者からの暴力。配偶者や恋人など親密な関係の者から振られる暴力。身体に対する暴力、またはこれに準じる心身に有害な影響を及ぼす言動のこと

問合せ／企画課（本庁舎2階） Tel 0178-56-4701



民具ふれあい館所蔵

### 機織り機

この地方は畑作を中心とする農業地域であった。農閑期の冬になると、主婦たちは衣服の繕いや機織りなどの手仕事に精を出した。庶民は機で麻布を織り、長い年月、麻布の衣服を着てきた。しかし、目の粗い麻布の衣服で

寒さを耐えしのぐことは、容易なことではなかった。そこで何枚も重ね着をしたり、二枚の布を重ね合わせて地刺ししたものを衣服に仕立てて着た。布の補強、保温性を高めた刺し子衣である。裂き織りは使い古した木綿布を裂いて、緯糸にして織った。布の再利用で、これで家族の衣料を補った。一反の裂き織りを

五等分し、五幅に縫い合わせると、六尺四方のこたつ掛けもできた。木綿の衣服が普及する昭和期まで、これほどまで麻糸や古木綿を利用して布に織ってきたことは驚きである。暮らしの中からは編み出された、主婦たちの「生活の知恵」であった。文化財保護審議会 委員 櫻庭俊美

### 公民館講座のご案内

#### 阿光坊古墳群を学ぼう

- 日程 五月七日(木)、十四日(木)、二十一日(木)、二十八日(木)、三十日(土)
- 時間 昼の部(ガイド講習) 十四時～十五時三十分  
夜の部(一般講習) 十九時～二十時三十分
- 会場 東公民館
- 講師 町学芸員ほか
- 定員 二十名程度
- 申込み 四月十五日(金)まで

#### 春の寄せ植え教室

- 日程 五月十九日(火)
- 時間 九時三十分～十二時
- 場所 北公民館
- 講師 高森むつみさん
- 材料費 二千元
- 製作物 お菓子入れバスケット
- 定員 二十名程度
- 申込み 四月十五日(金)まで

#### エコクラフト教室

- 日程 五月一日(金)、八日(金)
- 時間 九時三十分～十二時
- 場所 北公民館
- 講師 高森むつみさん
- 材料費 二千五百円
- 定員 二十名程度
- 申込み 四月三十日(水)まで

#### 今後の予定

- 秋の教室 九月～十一月 陶芸教室/レザークラフト教室/韓国料理教室/リフォールム洋裁教室/フィットネス教室/ハロウィン・クラフト教室/古典文学教室/家庭料理教室/前結び着付け教室
- 冬の教室 十二月～三月 クリスマス寄せ植え教室/クリスマスケーキづくり教室/正月しめ縄づくり教室/新年かきぞめ大会
- 長期講座 英会話教室(一般)/ジュニア英会話教室(小五～六年生)

### 東公民館サークル

- ヨガサークル「ヨギー」 日 時 毎週月曜日 十一時三十分～十二時三十分
- アロハフラサークル「ブルメリア」 日 時 毎週木曜日 十一時三十分～十二時三十分
- ウェルネスフラ「モンステラ」 日 時 毎週土曜日 十時三十分～十一時三十分

### 新着図書案内

- ◆ 図書館 ◆ TEL0178-52-3900
- 一般書 ■
  - 壺霊 上・下 / 内田康夫
  - どうせ、あちらへは手ぶらで行く / 城山三郎
  - ふまじめ介護 / 清原和博
  - 女優森光子 / 集英社
  - 君は永遠にそいつらより若い / 津村記久子
  - ポトスライムの舟 / 津村記久子
  - とんび / 重松清

### みんなで学ぼう 出前講座

昨年度、さまざまな出前講座を実施してまいりました。今回は、その中から二つの講座をご紹介します。

#### 1 おもてなしの心を学ぶ

下田中学校二年生を対象にした出前講座「茶道教室」を行いました。講師は茶道サークル「和敬会」の皆さんです。この講座は、茶道を通して礼儀作法を学び、独特の厳粛な雰囲気を感じることでできる貴重なチャンスです。日本の伝統文化である茶道を、よりいっそう

#### 2 食と健康を学ぶ

根岸健康自給菜園会員を対象に、出前講座「健康料理講習」を行いました。講師は町食生活改善推進員会の松林裕子さん。この講座は、平成十八年から始めた「根岸健康自給菜園」の行事である収穫祭に合わせたもの。健康を守る食事について学びました。また、高齢者の低栄養化した食事の改善や、最近話



題のメタボリック症候群なども取り上げました。この日は町内会の子どもたちもいっしょにサツマイモを収穫しました。触って学び、聞いて学び、食して学び。まさに五感で学んだ講座でした。

### ふるさと学習塾

平成二十一年度のふるさと学習塾スタッフを募集します。各界で活躍する講師と、仕事を通じて直接触れ合えるのが、スタッフの大きな特徴です。あなたのヤル気を生かしましょう。



▲平成20年度のスタッフ。和気あいあいと、楽しく運営しています

### スタッフ募集

- 委嘱期間 平成二十一年度第一回運営委員会(五月予定)から、平成二十二年三月末日まで
- 募集人数 十名

### ◎ 今月の本展示 ◎

- ★ 一般・児童 ★
- 【前年度ベストリーダー】平成二十年度の貸出ランキング上位(ベスト10位)の図書を、一般・児童に分けて展示
- ◎ 今月のよみかかせ会 ◎ 日 時 四月十一日(土)、二十五日(土) 十四時から(三十分～四十分程度)
- 場所 あそぼつと(図書館内)
- ◎ 四月の図書館休館日 ◎ 六日(月)、十三日(月)、二十日(月)、二十七日(月)

年金相談は電話予約してから…



昼下がりの主婦

その日の夕方



次の日



予約すれば待ち時間が少なくて済むよ！

教えておいらくん 国民年金のこと

4月からの国民年金保険料が14,660円になったよ！  
4月上旬には納付書が届きます。便利でお得な口座振替や前納をおすすめします



★前納で1年分口座振替で	3,690円お得
★前納で1年分を納付書で	3,120円お得
★前納で半年分を口座振替で	1,000円お得
★前納で半年分を納付書で	710円お得
★口座振替の毎月当月末で	月々50円お得

■問合せ／八戸社会保険事務所 Tel 0178-44-1742  
町民課（本庁舎1階）Tel 0178-56-2246

	月日	時間	会場
夜間	5月7日(木)	17:15-20:00	税務課(本庁舎)
	5月19日(火)		
	5月12日(火)		分庁サービス課(分庁舎)
	5月26日(火)		
休日	5月3日(火)	8:30-20:00	税務課(本庁舎)

■問合せ 税務課(本庁舎1階)  
Tel 0178-56-4704

納税相談窓口を開設

**固定資産縦覧帳簿の閲覧**  
平成二十一年度の土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧、固定資産課税台帳(名寄帳)の閲覧を行います。  
●期 間 四月一日(水)から六月一日(月)まで(土日祝日は除きます)  
●時 間 九時から十六時まで  
●場 所 税務課(本庁舎)  
●手数料 無料  
この縦覧制度は、所有する土地や家屋などの固定資産の評価額を、周辺の評価額と比較し、適正を確認するものです。縦覧帳簿はおいらせ町の固定

資産税納税義務者なら、自分の固定資産以外も縦覧できます。課税台帳は、納税義務者が自分の固定資産を閲覧できます。その資産の借地人や借家人も可能です。  
申請には印鑑、または本人確認できる免許証や健康保険証などをお持ちください。代理人が申請する場合は納税義務者の委任状、借地人や借家人は賃貸借契約書が必要です。  
■環境保健課(分庁舎一階)  
Tel 0178-56-4704

支払い方法が変わります

十月から、公的年金の所得に対する個人住民税の支払い方法が変わります。これまでは役場や銀行などに出向き、窓口で個人住民税をお支払いいただいていました。十月からは、個人住民税が公的年金から天引きされることとなります。  
●対象者 年齢が六十五歳以上の公的年金受給者で、個人住民税の納税義務がある方。かつ、年額十八万円以上の老齢基礎年金、または退職年金などを受給している方。

●対象になる税額 厚生年金、共済年金、企業年金などを含むすべての公的年金にかかる、所得額に応じた税額  
この制度は個人住民税の支払い方法を変更するものです。これにより新たな負担は生じません。  
詳細はお気軽にお問い合わせください。  
●問合せ 税務課(本庁舎一階)  
Tel 0178-56-4704

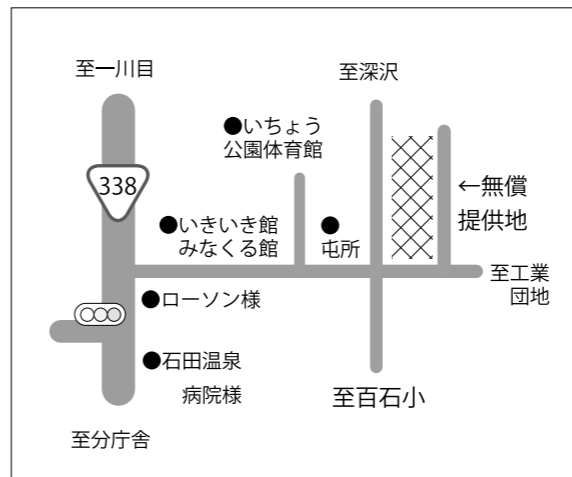
樹木を無償提供

町有地を維持管理する際に支障になる樹木を、安全確保と資源の有効活用を図るため、次のとおり無償で提供します。

- 払い下げ物件 松や杉などの生長木 四十本程度
- 場所 おいらせ町沼端地区 防風林用地内(地図参照)
- 参加申込受付 四月六日(月)から十七日(金)

伐採作業期間

- 条件 □町内に住所を有する方が参加できます
- 申込み多数の場合は抽選になります
- 伐採などにかかる費用は、希望者が負担することになります
- 期間 平成二十一年中
- 場所 町民課(本庁舎二階)  
Tel 0178-56-4273



国保の加入・脱退の際は

- 国保に加入するとき  
①ほかの健康保険を脱退したとき  
②転入したとき  
③子どもが生まれたとき
- 国保を脱退するとき  
①ほかの健康保険に加入したとき  
②転出したとき

③死亡したとき  
住所や世帯主の変更の際は、世帯全員分の保険証を窓口にお持ちください。国保の資格がないのに、国保の保険証を使って診察を受けると、国保で負担した医療費を返していただくこととなります。ご注意ください。  
届け出が遅れると、ほかの保険料と国保税を二重に納めてしまうことがあります。  
国保税、町税の納付は、口座振替が便利です。町内の各金融

妊婦健康診査費用の拡大

四月から、妊婦健康診査費用の一部公費負担を拡大します。

機関でお申し込みください。また、年金天引きから口座振替変更することもできます。この場合、役場の窓口と金融機関の両方に申し込みが必要です。詳しくはお気軽にお問い合わせください。  
■環境保健課(分庁舎一階)  
Tel 0178-56-4218

従来 十回 ▼ 四月から 十四回

四月一日妊娠届出分からは、十四回分の妊婦健康診査受診料を交付します。すでに届け出済みで、四月一日以降に受診予定の方には、四回分の受診料を追加交付します。追加交付対象者には個別に通知します。不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。  
■環境保健課(分庁舎一階)  
Tel 0178-56-4218

あなたの肩こり・腰痛・ぎっくり腰 私にお任せください！

詳しくはホームページをご覧ください。

料金  
初回料 1,500円  
施術料 3,500円  
高校生以下・70歳以上 2,500円

受付時間  
9:00 ~ 19:30  
定休日：月曜日

日曜日もOK!

Q. ポキポキしますか？  
A. 当院ではそのような施術は行いません。やさしく安全な施術方法ですので、ご安心ください。

Q. どのくらいでよくなりますか？  
A. 症状にもよりますが、1~3回程度で症状は軽くなります。ただ、根本的に症状の改善を目指す場合、5~8回くらいを目安にしましょうと良いと思います。

Q. 時間はどのくらいかかりますか？  
A. 初回は約60分。次回からは30~40分ほどかかります。

イオンカイロセラピーセンター  
TEL 0178-56-2923

おいらせ町中平下長根山1-836(国道45号向かい・喜多方一めん様そば)  
★この広告を見て来院された初回の方は、初回料金1,500円引き★

http://www.ionchiro.net

交通死亡事故ゼロ記録

1280日

■ 3月21日現在 ■

周囲の大人がしっかりと見守り、新入学児童や園児を交通事故から守りましょう。4月10日は「交通事故ゼロを目指す日」です!!

OIRASE BRAND File ②

【全国に誇れる】  
おいらせが **ブランド**  
「本鴨のタタキ」



Hongamo no Tataki

「鴨肉といえば青森県」というイメージは、今や全国に認知されつつあります。特にヤマセが吹きつけ、寒暖の差が大きいおいらせの気候で育つ鴨は、肉のしまりも味わいも抜群です。

中でも『銀の鴨』は、フランスから輸入される鴨を親鳥にしたものです。厳選した飼料と奥入瀬川の伏流水で、百日間大切に育てています。平成五年には皇太子さま、皇太子妃雅子さまのご結婚の儀の際、食材として献上されています。

この銀の鴨のうま味を最大限引き出す料理の一つが、『本鴨のタタキ』です。二十四時間水温熟成の鴨ロース肉の表面を、カリッと香ばしく焼き上げました。

口に含むと、鴨のうま味がふんわりと口に広がり、至福のひとつを堪能いただけることでしょう。ぜひご賞味ください。

■(農) 銀の鴨  
☎ 0178・53・1100 四  
URL: <http://ginnokamo.com>

町では「おいらせブランド推進協議会」と一緒にブランドづくりに取り組んでいます。新年度はモニターツアーや新商品開発プロジェクトなどに取り組む予定です。興味のある方は、ぜひご入会ください。

●問合せ 町企画課 佐藤啓二 ☎ 0178-56-4701  
ポータルサイト <http://www.oirasebrand.com/>

◆いちよう公園	
4月29日(水) 11時	オープニングセレモニー
5月3日(日) 9時	グラウンドゴルフ大会 チャレンジゲーム
◆下田公園	
4月29日(水) 9時	親子追跡ハイキング

**イベント**

**おいらせ町春まつり**

●日程 四月二十九日(水) から五月五日(火)まで

●会場・イベント内容

●問合せ 町観光課 ☎ 56-4703

**町内会対抗親善グラウンドゴルフ**

●日時 五月三日(土) 九時から

●会場 いちよう公園体育館 特設芝生

●参加対象 町民

●参加人数 一チーム五人

●参加料 一チーム五百円

四月二十二日(水)に公園整備作業を行います。美しい公園をつくりあげるため、ボランティア作業をしてくれる方を募集しています。あなたの力をぜひ分けてください。

**子どもスポーツチャンバラ大会**

●申込方法 四月二十四日(金)までに、いちよう公園体育館か町民交流センターへ申し込んでください

●申込先 いちよう公園体育館 ☎ 0178・52・6744 町民交流センター ☎ 0178・56・4711

●問合せ グラウンドゴルフ協会 山崎斉 ☎ 0178・52・4255

**子どもスポーツチャンバラ大会**

●日時 四月二十五日(土) 十三時から十六時まで

●会場 いちよう公園体育館

●対象 町内の園児、小学生

●申込方法 町内の保育園や幼稚園、学校に申込用紙を配布しています。参加希望者は電話かファックスで申し込んでください。

●申込期限 四月十七日(金)

●ファックス番号 ☎ 0178・56・4268

**SHARP Victor・JVC**

看板、横断幕、垂れ幕、のぼり旗、裃天、提灯、テント、掲示板、ジャンパー名入れ、シール・ラベル製作、カラーコピー VIDEO・DVD・CD制作

イベントの企画・運営、パンフレット・ポスターの印刷、看板の製作設置、写真・ビデオ撮影・編集、OA機材の販売

**BS 有ビジネス創研**

〒039-2141 上北郡おいらせ町明土11 (本村)  
TEL・FAX 0178-56-2814

ホームページ [ビジネス創研](#) 検索

※有料広告掲載欄です

**火災予防**

**春の火災予防運動週間**

●北北消防署 ☎ 52-2525

四月十三日(月)から十九日(日)の一週間は、春の火災予防運動週間です。『火の始末 君がしなくて 誰がする』。次のポイントを押さえて、火災をみんなで予防しましょう。

**交通安全**

四月六日から十五日 春の交通安全運動

●総務課 ☎ 56-2166

- ▼子どもや高齢者を交通事故から守りましょう
- ▼シートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底しましょう
- ▼自転車利用者も交通ルールを守りましょう
- ▼飲酒運転は絶対しない

また、四月十日は交通事故死ゼロを目指す日です。交通事故防止に努めましょう。

**子育て応援特別手当**

●町民課 ☎ 56-2246

平成二十年度時点で「小学校教育前三年間」の子で、一定の要件を満たす「第二子以降」の児童を対象に、一人あたり三万六千円を支給します。支給対象世帯には、すでに申請書を郵送しています。手続きをまだ済ませていない方は、忘れず

**子そだて**

「三つの習慣」

- 寝たばこは絶対しない
- ストロップは燃えやすいものから離して使う
- ガスコンロから離れるときは必ず火を消す

「四つの対策」

- 住宅用火災警報器を設置する
- 防災製品を使用する
- 隣近所の協力体制をつくる

●防火風揚げ大会

とき 四月十三日(月) 九時五十分から

ところ サーマンパーク

受付場所	受付日時
町民課 (本庁舎)	■平日 (土日祝日除く) 4/1(水)～4/30(木) 9:00～17:00
	■日曜受付 4/5(日)、4/12(日) 9:00～13:00

に申請してください。

また、申請書が届いていない世帯でも、次の要件を満たす方は支給対象になる場合があります。該当する方はお問い合わせください。

●要件

(1)②両方を満たす方

- 平成二年四月二日から平成十七年四月一日生まれの児童を、二名以上扶養している
- 平成十四年四月二日から平成十七年四月一日生まれの児童を扶養している

**学校教育**

**就学援助制度**

●学務課 ☎ 56-4258

就学援助制度は、経済的理由で就学が困難な小学生、中学生の保護者へ、最低限必要な経費の一部を援助する制度です。

●申込方法 四月月上旬に学校を通じて、案内文書と申請書を保護者へ配布します。希望者は申請書と必要書類を学校へ提出してください。小学校、中学校の両方に兄弟姉妹がいる場合は、中学校へ提出してください。

●認定審査・結果通知 教育委員会で申請書の内容を審査し、認定の可否を決定します。審査結果は六月上旬に通知します。

有限会社 **北浜葬儀センター**

電話1本で、どこの病院からでも御遺体を自宅までお運び致します。葬儀一式25万円から、お客様の予算に合わせてサービス致します。お気軽に御相談下さい。年中無休、24時間営業。

おいらせ町二川目4丁目73-1468 電話 0178-53-2614

※有料広告掲載欄です

## 戸籍の窓

### こんにちは赤ちゃん

大久保	咲姫 (満・裕子)	緑ヶ丘
丁塚	神威 (一彦・瑞穂)	木崎
神	羽愛 (幸司・望)	洋光台
種市	心愛 (健悦・博子)	染屋
後村	けい慶 (誠・桃子)	青葉
黒坂	爽太 (豊・美香)	上新町
小野田	彩乃 (幸・さおり)	下新町
田村	村真一 (徹・紀子)	鶴久保
村崎	功士朗 (匡利・奈緒子)	一川目
木村	和湖 (博幸・美香子)	木ノ下
熊野	琉雅 (豊・仁美)	一川目

### 結婚おめでとう

野呂清貴	若葉
(小比類朋未)	鶴久保
(安田知史)	緑ヶ丘
(古里鮎美)	緑ヶ丘

### お悔やみ申し上げます

木村光孝	77	住吉町
名ミエ	80	緑ヶ丘
佐々木フク	99	日ヶ久保
野村甚太郎	88	大工町
吉田ツツ	98	二川目
北向トシエ	81	若葉
橋本まつ	79	堀切川
小向正人	70	坂葉
藤田幸男	61	青葉
関口君子	89	三田園地
平平ナ	85	根岸
佐々木キノ	93	藤ヶ森
澤頭ミ	90	阿光坊
池崎孝男	60	豊原
村上恭一	81	洋光台
山崎寅助	94	洗平
蛸名定助	87	鍋久保

2月届け出分。届け出時に、本誌への掲載を希望した人だけ載せています

#### おいらせ町の人口 (3月1日現在)

地区	人口	前月比
男	12,185	+3
女	12,869	+2
計	25,054	+5
世帯数	9,060	+8

## 子育て支援センターからのお知らせ

子育て支援センターでは、未就園児とその家族を対象にサークル活動を行っています。親子で一緒に気軽に参加してみませんか？  
 詳細は各施設へお気軽にお問い合わせください。

場所	日時	行事内容等
三田保育園 ☎ 0178-56-2008	4/17㊤ 10:00~12:00	たんぼぼクラブ
	4/22㊤ 10:00~12:00	ハンドメイドクラブ
	4/24㊤ 10:00~12:00	たんぼぼクラブ
	4/28㊤ 10:00~11:30	親子クラブ
錦ヶ丘保育園 ☎ 0178-56-4051	4/21㊤ 10:00~	ピヨピヨサークル (こいのぼり製作)
菜の花保育園 ☎ 0176-53-8670	4/11㊤ 10:00~11:30	体験保育
	4/11㊤ 14:00~15:30	わくわくサークル(アロマキャンドル製作)
あゆみ保育園 ☎ 0178-52-2206	4/24㊤ 10:00~11:30	お花見会
	4/28㊤ 10:00~11:30	顔合せ・こいのぼり製作

★詳細は「きらら通信」をご覧ください

## 各種募集

- **ジュニアサッカー スクール参加者募集**  
 ④スポーツ振興課 ☎ 56-4259  
 ● 実施日 五月から九月までの毎週火曜日(五月十二日開始)  
 ● 実施時間 十七時三十分から十八時三十分まで  
 ● 実施場所 いちよう公園 多目的グラウンド  
 ● 持ち物 サッカーボール 四号球(検定球)  
 ● 指導者 町サッカー協会 会員  
 ● 対象 年長の幼児、小学一年生 男女問わず



※二年生からはサッカースポーツ少年団への入団をお勧めします  
 ● 参加料 三千元  
 ※スポーツ傷害保険などの経費を含みます  
 ● 申込み 四月二十八日(火)までに、参加料を添えて申し込みください  
 ● 申込先 サッカー協会 事務局 赤坂千敏

## 町営霊園 分譲中

お気軽にお問い合わせください

環境保健課  
 TEL 0178-56-4218



## イベント

### いちようマラソン 大会参加者募集

④スポーツ振興課 ☎ 56-4259

- 日時 六月二十八日(日) 受付 八時 開会式 九時 開始 十時
- 場所 いちよう公園体育館
- コース いちよう公園・洋光台団地周辺
- コード
- A / 高校・一般男子 十キロメートル
- B / 高校・一般男子 (二十九歳以下) 五キロメートル
- C / 一般男子(四十歳から四十九歳まで) 五キロメートル
- D / 一般男子 (五十歳以上) 五キロメートル
- E / 高校・一般女子 五キロメートル
- F / 中学生男子 三キロメートル
- G / 中学生女子 三キロメートル
- H / 小学生男子 五・六年生 三キロメートル
- I / 小学生男子 三・四年生 三キロメートル
- J / 小学生男子 一・二年生 三キロメートル
- K / 一般男女フリー (年齢制限なし、着順発表なし) 三キロメートル
- L / 小学生女子 五・六年生 三キロメートル
- M / 小学生女子 三・四年生 三キロメートル
- N / 小学生女子 一・二年生 三キロメートル
- 参加資格 健康に自信があり、所定の距離を完走できる方
- 参加料 高校生以下 千五百円 一般 二千元
- 申込方法 五月八日(金)までに、次のいずれかの方法で申し込んでください。当日申し込みはできませんので、あらかじめご了承ください。①所定の郵便払込用紙に必

## 各種募集

### 町民農園オーナー 募集します

④農林水産課 ☎ 56-4279

- 面積 一区画十五坪 (約五十平方メートル)
- 利用期間 四月下旬から十月末日まで
- 区画数 二十九区画
- 利用料 一区画三千元
- 募集期間 四月一日(水)から十七日(金)まで
- 応募方法 料金と印鑑をお持ちの上、農林水産課備え付けの申込用紙を提出してください。区画場所は先

### 自衛官の募集

● 受付期間 四月一日(木)から五月十二日(火)まで  
 ● 試験の概要

募集種目	応募資格*	試験日
幹部候補生 (一般・飛行・技能)	22歳以上26歳(修士28歳)未満	5月16日(土)、17日(日)
一般曹候補生 (陸・海・空)	18歳以上27歳(修士28歳)未満(ただし高校生を除く)	5月23日(土)

### 幹部候補生の初任給

大学卒 二十一万四千九百円  
 大学院卒 二十三万二千元

### 一般曹候補生の初任給

十五万九千五百円  
 詳細内容はお問い合わせください。

### 問合せ

自衛隊青森地方協力本部 三沢募集案内所  
 電話 〇一七六・五三・一三四六

## 1歳お誕生記念写真

期間限定特別価格キャンペーン実施中

- ・撮影料 ¥3,700
- ・プリント料 六切1枚 ¥4,800
- ・プリント料 L判2枚 ¥1,000
- ・高級紙台紙 ¥800

全部合わせて  
**¥4,800**  
 ※1ポーズにつき



ご予約制となります。お気に入りのお召し物でお越しください  
 Tel: 0178-52-2525 / Fax: 0178-52-2603  
 Web: Yahoo! や Google で「アトリエゆう」を検索  
 2009年8月末まで  
 労働大臣検定一級写真技師の店  
 有限会社アトリエゆう

使用済みアルミ缶はスクラップの価値が高いものです。ごみとして出してしまふのは、あまりにも惜しい話ではありませんか。アルミ缶は、とても利用価値の高い資源なのです。

回収したアルミ缶は、高値で売ることが出来ます。若葉町内会では、アルミ缶やスチール缶を、三百六十五日、いつでも自由に回収できるポストボックスを設置しています。広報若葉だよりでは、リサイクルの力強い成果を図表で示しています。アルミ缶を売った利益は、町内会活動運営費となります。会員からとても喜ばれています。

缶は何度でもリサイクルできる大切な資源です。ごみを減らすことによつて、自治体のごみ処理費用は削減できます。限りある資源を節約することになるのです。回収されたアルミ缶を再生すると、新たにアルミ缶を作る場合と比べ、九十七割ものエネルギーが節約されるといわれて



▲缶は貴重な資源に生まれ変わる

「おいらせ町はわがふるさとです」と誇ることが出来るまちを築くためにも、行政と住民が一丸となって、エコやリサイクルを実践することが必要と考えます。それでこそ、税金の無駄遣いを最小限に抑えることができます。今後の行政の指針や体制づくりを期待する一人として、拓きゆく未来のおいらせ町の発展を願ってやみません。

## ごみ減量への取り組み アルミ缶のリサイクル豆知識

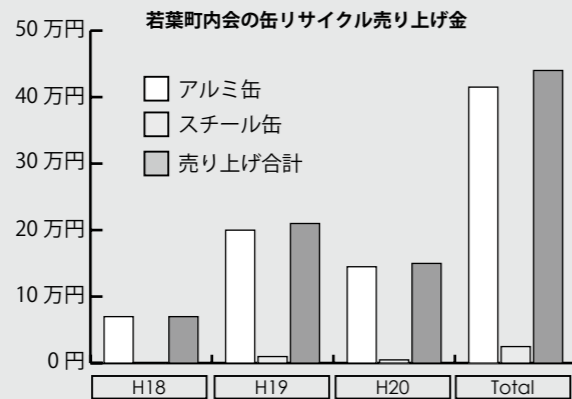


執筆

若葉会／十和田地域広域事務組合ごみ有料化等検討委員

たねいちてるお  
**種市輝夫**

「ごみ減量への取り組み」は、今月号で終了します。来月からは、また新たな取り組みを紹介します。



## 編集後記

▽今月の特集は、町の鳥に指定されている白鳥を取り上げました▽鳥インフルエンザという病は、町の冬季観光、そして携わる人々の思いに大きなショックを与えました▽でも、これはもしかしたら、新たな取り組みへの大きなきっかけにつながるかもしれない▽「白鳥を呼び戻したい、そのためには餌づけが必要」という声は確かにあります▽それでも取材を通じて、「水辺環境全体を見直さなければ」という考えに触れることができました▽青森県全体での餌づけ自粛は、当分の間続くかもしれない▽それでももう一度白鳥たちに振り向いてもらえよう、熱い思いで取り組みを進められたらと思っております▽三月五日、百石中学校の卒業式におじゃましました▽新たな巣立ちを迎えた卒業生たちの合唱に、体全体が震えるような感動を覚え、熱いものが込み上げてきました▽自分自身の中学校卒業からはや十八年▽あのときに抱いた志を、改めて感じさせてもらったひとときでした

企画課 広報担当 松林拓大

# おいらせ健康カレンダー

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 水				
2 木	転倒予防教室 ポリオ予防接種	9:30-12:00 13:30-14:00	のびのび館 いきいき館	理学療法士の運動指導 生後3~90カ月未満のお子さん
3 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
4 土				
5 日				
6 月				
7 火	リハビリ健康相談 1歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受付/ 12:30-12:45	いきいき館 いきいき館	理学療法士のリハビリ・看護師の健康相談 対象/平成19年9月生まれ
8 水	2~3カ月児健康相談 乳幼児健康相談	受付/ 10:00-10:30 受付/ 13:00-13:30	いきいき館 いきいき館	対象/平成21年1月生まれ
9 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	
10 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
11 土				
12 日				
13 月				
14 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ・看護師の健康相談
15 水				
16 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
17 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
18 土				
19 日				
20 月				
21 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ・看護師の健康相談
22 水	5~6カ月児健康相談	受付/ 10:00-10:30 受付/ 13:00-13:30	いきいき館	対象/平成20年10月生まれ 対象/平成20年11月生まれ
23 木	転倒予防自主トレーニング 転倒予防教室	9:30-12:00 11:00-12:00	のびのび館 老人福祉センター	理学療法士の運動指導
24 金	リハビリ健康相談 3歳児健康診査	9:30-11:00 受付/ 12:30-12:45	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導・相談 対象/平成17年10月生まれ
25 土				
26 日	愛の献血	10:00-12:00/13:15-16:00	イオンモール	
27 月				
28 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ・看護師の健康相談
29 水				
30 木				
31 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談

洋光台団地の購入者を紹介した方には**10万円**を贈呈  
パークタウン洋光台好評分譲中!

## 時を経ても変わらないものを

It's an eternal thing though time passed.

住まいは、歳月とともに少しずつ老朽化してしまいます。目にふれるところも、そして快適に暮らすための基本性能も…。直接確かめることのできない、気密や断熱などの性能の低下を最小限に抑えること。これが、住まいの快適さを保つ秘訣です。新築時にはそれほど気にならなかった光熱費も、年を追うごとに右肩上がりでは、せつかくのマイホームも台無しです。次の世代に安心して快適さを受け継ぐことのできる住まい。FPの家が目指すのは、そんな永住品質の家づくりです。

## FPの家 見て・触れて その性能を体感しよう。工場見学会



「FPの家」の要とも言える「FP断熱パネル」の製造工場を工場見学という形で毎月一般公開しております。

建てた後で後悔しない「FPの家」のヒミツを「体感」してみませんか？

◎4月12日(日)に開催します。

◎5月10日(日)の予定です。

※詳しい内容のお問い合わせ、お申し込みは 建築課 立崎・太田まで

参加費 無料

〒039-2135 青森県上北郡おいらせ町立蛇71番地

Tel. 0178-50-6511 Fax. 0178-50-6510

ホームページ 柏崎組 検索

『やすらぎの家研究会』ブログ更新中!

「FPの家」にお住まいのお客様の声をまとめた本(私が選んだFPの家)を差し上げております。(無料)





菜々美の日々の成長を  
家族みんなで願っています

志賀菜々美  
ちゃん

寿之  
さん

京子  
さん

|| 緑ヶ丘 ||

町主催の一歳六カ月児健診で  
出会った志賀さんご家族。長女  
の菜々美ちゃん(一)は、おしゃ  
ぶりを口にしながら、パパとマ  
マに甘える。

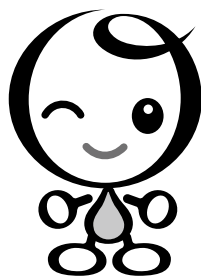
栃木県出身で、南部弁によう  
やく慣れてきたという父親の寿  
之さん(二四)は、目を細めな  
がらこう語る。「自分自身初め  
ての子どもですから、毎日が緊  
張と戸惑いの連続です。最近お  
風呂と一緒に入ると、菜々美は  
『バアバア』と声を出せるよう  
になってきました」。

母親の京子さん(二九)は、  
「菜々美はたまに寝つきが悪い  
ときがあります。泣きやまない  
ときは『育児って大変だな』と  
思うこともあります。でも一日  
一日、娘がすくすくと育つてく  
れているのを見ていて、幸せを  
感じています」と、菜々美ちゃ  
んを抱きながらにっこり。

菜々美ちゃんの将来への希望  
を両親に伺った。

寿之さんは「病気やけがに気  
をつけて、元気に育ってほし  
い」、京子さんは「人前できち  
んとあいさつができる、礼儀正  
しい娘に育ってほしいですね」  
と語る。

カメラを向けると、興味深そ  
うに見つめる、菜々美ちゃんの  
表情が印象的だった。



奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち

広報 **oirase**

広報oirase 4月号の印刷経費は、1部 70.35円です

広報oirase No.50 2009年4月1日発行号